

授 業 名	疾患別理学療法Ⅸ(老年期)	授 業 形 態	講 義
		配 当 学 期	2 年(前期)
担 当 教 員 名	落 合 慶 之	単 位 数	1 単 位
		時 間 数	30 時 間
授 業 概 要 学 習 目 標	<p>〔授業概要〕 社会の高齢化に伴い、理学療法の対象者も高齢者の比率は増加の一途をたどっている。また、加齢によって心身機能も変化していく。この講義では、高齢者の心身機能の特徴をもとに、介護予防の視点も踏まえた理学療法について学習する。</p> <p>〔学習目標〕 加齢に伴う心身機能の変化が説明できる。 高齢者の心身機能の測定マニュアル、フィードバック資料が作成できる。 老年症候群における理学療法のポイントを説明することができる。</p>		
授 業 回 数	授 業 の 内 容		
第 1 回	高齢者と老年症候群		
第 2 回	加齢に伴う心身機能の変化①生理機能		
第 3 回	加齢に伴う心身機能の変化②運動機能		
第 4 回	加齢に伴う心身機能の変化③精神心理機能		
第 5 回	高齢者の心身機能の測定について		
第 6 回	高齢者の心身機能の測定マニュアルの作成①		
第 7 回	高齢者の心身機能の測定マニュアルの作成②		
第 8 回	高齢者の心身機能の測定マニュアルの作成③		
第 9 回	高齢者の心身機能の測定結果に対するフィードバック資料の作成		
第 10 回	測定マニュアル・フィードバック資料の発表		
第 11 回	転倒予防に対する理学療法		
第 12 回	サルコペニア・フレイルに対する理学療法		
第 13 回	ロコモティブシンドロームに対する理学療法		
第 14 回	MCIに対する理学療法		
第 15 回	尿失禁に対する理学療法		
評 価 方 法	小テスト(55%)、マニュアル・資料作成ならびに発表(45%)を統合して評価を行う。		
教 科 書 参 考 図 書	<p>〔参考書〕 老年学 第5版(医学書院) 運動療法学 第2版(文光堂) 高齢者理学療法学(医歯薬出版) Crosslink 理学療法学テキスト 高齢者理学療法学(MEDICAL VIEW)</p>		
履 修 上 の 留 意 点	<p>グループワークでは、積極的に議論に参加すること。 測定マニュアル・フィードバックマニュアルの作成は実際に対象者に実施することを想定し、取り組むこと。</p>		
メ ッ セ ー ジ	特になし		